

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成30年4月12日(2018.4.12)

【公開番号】特開2016-159844(P2016-159844A)

【公開日】平成28年9月5日(2016.9.5)

【年通号数】公開・登録公報2016-053

【出願番号】特願2015-42585(P2015-42585)

【国際特許分類】

B 6 0 R 11/06 (2006.01)

B 6 2 D 25/20 (2006.01)

B 6 6 F 3/12 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 11/06

B 6 2 D 25/20 J

B 6 6 F 3/12 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月26日(2018.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

車体を支持する受け台と地面に置かれるベース部とがアームによって連結されたパンタグラフ型のジャッキを有し、該ジャッキを車両のバックパネルに固定するジャッキ固定用 ブラケット構造において、

前記ジャッキは、前記受け台よりも前記ベース部のほうが上下方向に大きな寸法を有し、前記ベース部を車両前方に向けて固定され、

当該ジャッキ固定用ブラケット構造はさらに、

前記バックパネルに配設され前記ジャッキの前記受け台を支える ブラケットと、

前記ジャッキのベース部が前記受け台よりも低くなるように該ジャッキを傾斜させた状態で該ベース部を支える 支持部とを有し、

前記支持部は、前記ジャッキのベース部の下端から所定の距離以内の位置で該ベース部を支持し、

前記所定の距離は、前記ジャッキの高さに、該ジャッキを側方から見たときの前記ベース部の下端から前記受け台の下端までを結ぶ直線と該受け台の下端から該ベース部に向かう垂線とがなす 広がり角度の正接を乗じて得られることを特徴とするジャッキ固定用ブラケット構造。

【請求項2】

前記傾斜角度は、前記広がり角度よりも小さく、

前記所定の距離は、前記ジャッキの高さに、前記傾斜角度の正接を乗じて得られることを特徴とするジャッキ固定用ブラケット構造。

【請求項3】

前記支持部は、棒状の部材であり、前記ブラケットに載置され接合されている互いに平行な2本の足部と、該2本の足部から連結し前記ベース部をその車幅方向にわたって支持する係止部とを有することを特徴とする請求項1または2に記載のジャッキ固定用ブラケット構造。

【請求項 4】

前記プラケットは、前記ジャッキの受け台の側部および上部を支えることを特徴とする請求項1ないし3に記載のジャッキ固定用プラケット構造。

【請求項 5】

前記プラケットは、前記バックパネルの底面および側面にわたって配設されていることを特徴とする請求項4に記載のジャッキ固定用プラケット構造。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決するために、本発明の代表的な構成は、車体を支持する受け台と地面に置かれるベース部とがアームによって連結されたパンタグラフ型のジャッキを有し、ジャッキを車両のバックパネルに固定するジャッキ固定用プラケット構造において、ジャッキは、受け台よりもベース部のほうが上下方向に大きな寸法を有し、ベース部を車両前方に向けて固定され、当該ジャッキ固定用プラケット構造はさらに、バックパネルに配設されジャッキの受け台を支えるプラケットと、ジャッキのベース部が受け台よりも低くなるようにジャッキを傾斜させた状態でベース部を支える支持部とを有し、支持部は、ジャッキのベース部の下端から所定の距離以内の位置でベース部を支持し、所定の距離は、ジャッキの高さに、ジャッキを側方から見たときのベース部の下端から受け台の下端までを結ぶ直線と受け台の下端からベース部に向かう垂線とがなす広がり角度の正接を乗じて得されることを特徴とする。